

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス はぐハウス		公表日		2026年 5月 7日	
	チェック項目	はい	いいえ			課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		基準以上のスペースを確保しており、適宜環境調整を行い密にならないようしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準以上の専門職員を配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等や、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		ワンフロアで段差がなく、玄関の段差にはスロープを使用している。また、児童の成長発達に応じて設備や表示を変更している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		清掃、消毒、整理整頓を毎日実施し、利用中にも必要に応じて清掃、消毒を行い清潔を心がけている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要時、別室を使用したり、カーテンやパーテーション等で空間を仕切ることで、環境調整を行っている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		支援や業務の振り返りを行い、必要に応じて改善を図れるよう職員会議を行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表のご意見をもとに職員間で話し合いの場を持ち、改善を図っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		従業者向け評価表や職員会議等により意見を把握し、改善を図っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	風通しのよい職場を目指し、法人内での見学や、業務・支援の確認等を行っている。	第三者による外部評価を検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		施設内研修や外部研修により、職員の知識・技術の向上を図っている。	参加できなかった職員にも資料の配布と伝達研修を行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		事業所ホームページで公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		モニタリング、日々の支援や取り組みからこどものニーズを把握し、職員全体で十分に検討して支援計画を作成している		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援会議を開催し、各専門職で意見交換を行いながら支援計画を作成している		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画の内容に沿った支援を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		適応行動評価尺度を用いたフォーマルアセスメントと、日常の支援によるインフォーマルアセスメントを組み合わせ理解を深めている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容を記載するように努めている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		保育士、理学療法士、看護師を中心に、多職種の意見交換のもと立案している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節毎の行事を取り入れている		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を立案している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼で申し送りや打ち合わせを行い、多職種で連携をとりながら支援を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援終了後に振り返りや情報の共有を行っている	勤務時間により終了後に共有できない職員については書面等で共有を徹底していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		利用毎の支援記録にて個々の情報を記録し、1か月毎に各職種で情報の集約を行い、支援の質の向上に努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングに加え、状況の変化があった場合にもモニタリングを行い、細やかに計画の見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者に限らず、児童の状況に合わせてふさわしいと考える職員が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		各関係機関において、情報提供や共有を行い連携に努めている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	保護者様のご意見も踏まえたうえで、保育所等との情報共有や見学等を行い、インクルージョン推進の観点から支援を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		担当者会議への参加や連絡調整を行うことで、情報共有と相互理解を図っている	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	研修や会議等に積極的に参加し、必要時は助言をいただくようしている	連携の状況や助言をいただいた内容などの周知を徹底する
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	地域の公園での活動等で交流を図っている	今後は地域の保育所や幼稚園などのイベント等に参加する機会を作っていく
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		利用毎の支援記録や、送迎時の申し送り等で情報共有を行い、共通理解できるように努めている	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		外部より講師を招き、こども・家族・職員が参加できる研修の機会をもった	保護者様からのご意見や要望を確認し、研修の機会や情報提供を行っていく
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時や、質問があった際には、丁寧に説明するよう心掛けている	
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		こどもの発達の状況や家族の生活状況を考慮したうえで、こどもや家族のニーズを把握できるように、送迎時の対話やモニタリングを実施し意向を確認している	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		計画書の内容について、説明や見直しを行い、同意を得て署名をいただいている	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		悩みや困りごとの相談があった場合やモニタリング実施時には、気持ちに寄り添いながら傾聴や助言を行うよう努めている	
	36	文庫の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		季節の行事や研修会にこどもや家族を招待し、こどもや兄弟、保護者同士が交流できるように努めた	今後は、広報等を工夫し参加者を増やせるように取り組んでいく
	37	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談や申し入れがあった場合は、職員間で意見交換し、保護者様へ迅速に連絡している	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月のお便り作成や、保護者様への写真・画送付、インスタグラムでの発信を行っている	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取り扱いに十分留意し、同意書に基づき情報を使用している	

	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々に合わせた意思疎通・情報伝達について、チームアプローチも含め配慮に努めている	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	地域のお祭りやイベント等に参加し、地域住民との交流に努めている	地域に開かれた事業運営を図れるよう、事業所の行事に地域の方々を招待する等検討していく
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしている。職員・子ども参加のもと、定期的に訓練を行い、お便り等で周知している	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを策定し、定期的に地震・火災・水害発生に備えた訓練を行い、非常持ち出しバックの見直しを行っている	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		利用契約時の保護者様からの聞き取りと、指示書等の内容確認を行っている	
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		指示書や保護者様からの聞き取りを基に対応している	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画に基づき、職員間で研修や訓練を実施し、安全点検を定期的に行っている	
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画に基づく取組内容について、お便りへの記載や、必要時は書面配布にて説明を行い、周知を図っている	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		全職員が積極的に取り組み、事前検討を踏まえて再発防止に努めている	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		外部研修への参加と施設内研修を踏まえ、事例検討を行っている。	
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		支援計画への記載と職員間での検討、保護者様への説明と同意のもと実施している	